

# Press Release

2004年7月14日

各位

大日本インキ化学工業株式会社  
東京都中央区日本橋3丁目7番20号  
社長：小江紘司、資本金：824億円

## 住友化学の繊維加工用樹脂事業に関する営業権の譲受について

当社は、住友化学工業株式会社が有する国内の繊維加工用樹脂の営業権を、2004年10月1日付で譲り受けることで同社と基本合意しました。

グリオキザール樹脂やメラミン樹脂およびそれらの硬化剤（触媒）などの繊維加工用樹脂は、ワイシャツなど形態安定加工やエリなどの硬仕上げ加工に主に用いられています。これらの衣料品は、中国などから大量に輸入されていることから、厳しい価格競争に晒されており、国内の繊維メーカーは海外への生産シフトを進めています。この空洞化の影響から、繊維加工用樹脂の国内市場は、この10年でほぼ半減するに至っています。このような状況下、当社がかねてより同事業の継続には抜本的な再構築が不可欠と考えており、住友化学が事業再編の一環として本事業の譲渡を検討していたことから、当社は製品ラインアップの強化が顧客へのサービス、さらに事業の強化に結びつくと判断し、今回の譲り受けを決定したものです。

住友化学の繊維加工用樹脂事業は、年間2,000トンの販売量で、事業規模は4億円。譲り受け後は年間5,000トン、年商が約10億円となり、当社の国内シェアは約60%を占めることとなります。

当社は今回の営業権譲受を機に、商流の合理化と販売サービスの強化を推進します。そのため、実質的な当社の販売部門として、日本資材株式会社（本社：大阪府中央区、社長：高野繁正）を総代理店に起用することを決定しました。同社は全国に9拠点を有する中堅商社で、特に繊維分野を得意としています。当社は同社との連携により樹脂を安定的に供給するとともに、国内の顧客の競争力強化への寄与に向け、最終製品の差別化など顧客の様々な製品開発を支援していくことを目指しています。

なお、譲り受けた製品はいずれも、当社の既存生産設備で対応でき、美川工場や関係会社の北日本ディック株式会社などで生産を行う予定です。また、インドネシアや台湾、タイなどのアジアの関係会社でも繊維加工用樹脂を生産しており、中国でも江蘇省張家港市に生産拠点を建設していることから、今後は国内の顧客への安定供給に加えて、成長市場である海外の事業を積極的に強化して行く方針です。

以上

本件に関するお問い合わせ 広報・IR部 TEL 03-5203-7838